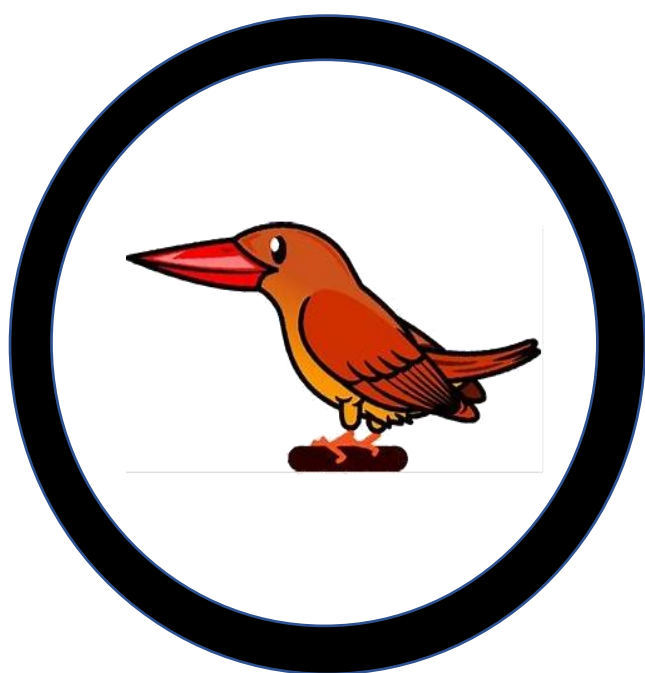


【貸出用】※活動後事務室へ返却してください。

野鳥ハンドブック

広島市青少年野外活動センター・こども村の野鳥たち



広島市青少年野外活動センター・こども村
【2020年度作成】

ハンドブックの見方

広島市青少年野外活動センター・こども村で見たり、鳴き声を聞いたりした野鳥について紹介しています。

・ 同じ大きさ（【スズメくらいの大きさ】【ハトくらいの大きさ】【カラスくらいの大きさ】）の鳥ごとにまとめ、次のことについて紹介しています。

(1) 名前（種名^{しゅめい}）、目科名（分類上の位置付け^{ぶんるいじょう}）

(2) よく見ることのできる季節^{きせつ}

春から夏にかけて・・・<夏>

秋から冬にかけて・・・<冬>

1年中・・・<通年>

(3) 説明^{せつめい}

①大きさ

②姿や行動の特徴^{すがた とくちょう}

③鳴き方



さくいん（五十音）

（ア行）

- ・アカゲラ No. 2 0 (P 8)
- ・アカショウビン No. 2 1 (P 8)
- ・イカル No. 1 9 (P 8)
- ・ウグイス No. 9 (P 4)
- ・エナガ No. 6 (P 3)

（カ行）

- ・カケス No. 2 2 (P 9)
- ・カワセミ No. 1 8 (P 7)
- ・カワラヒワ No. 7 (P 4)
- ・キジ No. 3 2 (P 12)
- ・キジバト No. 2 4 (P 9)
- ・キセキレイ No. 1 4 (P 6)
- ・キビタキ No. 1 2 (P 5)
- ・キレンジャク No. 2 9 (P 11)
- ・コガラ No. 5 (P 3)
- ・コゲラ No. 1 7 (P 7)
- ・コジュケイ No. 2 6 (P 10)

（サ行）

- ・スズメ No. 1 (P 3)
- ・シジュウカラ No. 2 (P 3)
- ・ジョウビタキ No. 1 1 (P 6)
- ・セグロセキレイ No. 1 5 (P 7)

（タ行）

- ・ツツドリ No. 2 7 (P 10)
- ・ツバメ No. 1 3 (P 6)

（ハ行）

- ・ハシブトガラス No. 3 1 (P 12)
- ・ハシボソガラス No. 3 0 (P 11)
- ・ヒガラ No. 4 (P 3)
- ・ヒヨドリ No. 2 3 (P 9)
- ・ヒレンジャク No. 2 8 (P 11)
- ・ホオジロ No. 1 0 (P 5)
- ・ホトトギス No. 2 5 (P 10)

（マ行）

- ・メジロ No. 8 (P 4)
- ・モズ No. 1 6 (P 7)

（ヤ行）

- ・ヤマガラ No. 3 (P 2)
- ・ヤマドリ No. 3 3 (P 12)



【スズメくらいの大きさの鳥】

1. スズメ（スズメ目ハタオリドリ科） <通年>



- ① 全長14cm位。^{くらい}
- ② 民家近くで多く見られる。^{みんか}
 - ・ほおに黒い斑。^{まだら}
(幼鳥ではうすい)^{ようちよう}
 - ・歩く時は両足を揃えて跳ねる。^{そろ}
- ③ 「チュン」「ジジ」などさまざまな声でなく。

2. シジュウカラ（スズメ目シジュウカラ科） <通年>



- ① 全長14cm位。^{くらい}
- ② 白いほお、胸から腹にネクタイ模様（縦に黒い筋）がある。^{むね はら}
(雄の方が模様が太い)。^{おす もよう}
- ③ 「チッチー」などの細かい声はシジュウカラ科に共通しているが、「ジクジク」と濁った声で鳴くのは特徴の一つ。^{きょうつう}
 - ・ さえずり：細かい声で「ツピー」や「ツツピー」を繰り返す。^{にご とくちょう}

3. ヤマガラ（スズメ目シジュウカラ科） <通年>



- ① 全長14cm位。^{くらい}
- ② 胸から腹が赤味のある茶色を帯びている。^{むね はら}
 - ・シジュウカラより尾が短い。^お
- ③ 「スィー、スィー」とシジュウカラよりかすれた声や「ビービー」と鼻にかかった声を出す。
 - ・ さえずり：シジュウカラより低い声で、ゆっくりしたテンポ。^{ひく}

4. ヒガラ（スズメ目シジュウカラ科） <通年>



- ① 全長11cm位^{くらい}。
- ② シジュウカラより小さく、ネクタイ模様^{もよう}がなく、尾^おは短い。
- ③ 「チー」とシジュウカラより甘い声^{あま}で鳴く。
・ さえずり：シジュウカラより高い声で、「ツピ」または「ツツピ」を早口^くで繰り返す。

5. コガラ（スズメ目シジュウカラ科） <通年>



- ① 全長12cm位^{くらい}。
- ② 頭に黒いベレー帽^{ぼう}のような模様^{もよう}。
- ③ 「ツツ、ジャージャー」と鼻^{はな}にかかったような声^{こゑ}で鳴く。
・ さえずり：澄んだ声^すで「ヒチー」などを繰り返^くす。

6. エナガ（スズメ目エナガ科） <通年>



- ① 全長14cm位^{くらい}。
- ② 白っぽい小さな体^{てい}に対して長い尾^おが目立つ。
- ③ 「チー」という細い声^{こゑ}はシジュウカラ科^かに似ているが、「ツリュリュ」という独特^{とく}な声^{こゑ}で鳴く。

7. カワラヒワ（スズメ目アトリ科） <通年>



- ① 全長12cm位。
- ② 体の色は、アイボリーに似た色で、太めのくちばしを持ち、翼と尾に黄色の斑がある。
 - ・黄色の斑は、飛ぶと目立つ。
- ③ 高い声で「キリリリ」と鳴く。
 - ・さえずり：「ビーン」と濁った声も出す。

8. メジロ（スズメ目メジロ科） <通年>



- ① 全長12cm位。
- ② スズメより小さく、背中が緑っぽく、目のまわりが白い。
- ③ シジュウカラ科より甘い感じで、「チー」と鳴く。
 - ・さえずり：長く複雑。

9. ウグイス（スズメ目ウグイス科） <通年>



- ① 全長15cm位。
- ② 雄雌ともに羽毛はオリーブ褐色で腹が白い。
- ③ 低いやぶの中で、「ジャツ、ジャツ」と鳴く（地鳴き）。
 - ・さえずり：ホーホケキョのほか、ケキョケキョを繰り返すこともある。

10. ホオジロ (スズメ目ホオジロ科) <通年>



- ① 全長16cm位。
- ② 腹が茶色。
 - ・スズメより尾が長い。雄の顔に黒白の模様があり、雌は黒い部分が褐色。
- ③ 「チチツ」または「チチチツ」と短く続けて鳴く。
 - ・さえずり：木のこずえなどの目立つところで、細い声で早口に「チョッピーチリーチョチーツク」など。

11. ジョウビタキ (スズメ目ツグミ科) <冬>



- ① 全長15cm位。
- ② 翼に白い斑、雄は胸から腹が橙色。
 - ・時々ピヨコンとおじぎをして尾を震わせる。
- ③ 澄んだ声で「ヒッ、ヒッ、」時に「カッカッ」と低く鳴く。

12. キビタキ (スズメ目ヒタキ科) <夏>



- ① 全長14cm位。
- ② 雄の胸と腰のあたりが黄色。
- ③ 「ヒッ、ヒッ、」時に「クリリッ」と鳴く。
 - ・さえずり：明るい声で「ピヨピ、ピッピキピピッピキピ」などと、短い前奏の後に「チュピピピ」のように早口で繰り返す。

13. ツバメ (スズメ目ツバメ科) <夏>



- ① 全長17cm位。^{くらい}
- ② 燕尾服^{えんびふく}の語源となった先が二つに分かれた尾^おを持つ。
 - ・ 背中^{せなか}全面が一様に黒い。
 - ・ 雄^{おす}の尾は雌^{おめす}より細長い。
- ③ 「チュピッ」などと鳴く。
 - ・ さえずり：「チュチュビチュチュビジクジクビー」と最後^{さいご}が濁^{にご}る。

14. キセキレイ (スズメ目セキレイ科) <通年>



- ① 全長20cm位。^{くらい}
- ② 腹^{はら}が黄色く、長い尾^おを持つ。
- ③ 「チチン、チチン」と澄^すんだ声で鳴く。
 - ・ さえずり：「チチチチッ」と細^すく鋭^{するど}い声。

15. セグロセキレイ (スズメ目セキレイ科) <通年>



- ① 全長21cm位。^{くらい}
- ② 名前の通り^{せなか}背中が黒く^{はら}腹が白い。
 - ・ 長い尾^おを上下^ふに振る。
- ③ 「ジジッ」と濁^{にご}った声で鳴く。
 - ・ さえずり：澄^すんだ声も交えて「ジーピチチロジージジ」などと複雑^{ふくざつ}に鳴く。

16. モズ (スズメ目モズ科) <通年>



- ① 全長20cm位。
- ② 雄は、黒い過眼線（雌は褐色）が特徴。
 - ・ 長めの尾を回すように振る。
- ③ 「キチキチ」や「ジュン、ジュン」などと鳴く。秋には「キーィキーィ」と甲高く鳴く。

17. コゲラ (キツツキ目キツツキ科) <通年>



- ① 全長15cm位。
- ② シジュウカラ科の群れに交じって1~2羽でいることがある。
- ③ 「ギー」と戸がきしむような声で鳴く。
 - ・ 「ギー」という声の後に「キッキッキツ」と続けて鳴くこともある。

18. カワセミ (ブッポウソウ目カワセミ科) <通年>



- ① 全長17cm位。
- ② 青い背、オレンジ色の腹が特徴。
 - ・ 河川や湖沼付近にある枝や岩などに止まっていて、水面にと飛び込んで、魚をとったり水浴びしたりする。
 - ・ 土の崖の斜面に穴を掘って繁殖する。
 - ・ くちばしが鋭く長い。雌の下くちばしには赤い部分があり、雄にはない。
- ③ 「チイーツ」と細く鋭く鳴く。

【ハトくらいの大きさの鳥】

19. イカル（スズメ目アトリ科） <通年>



- ① 全長23cm位。^{くらい}
- ② 大きな黄色いくちばし。
 - ・飛ぶと翼の白斑が帯になって見える。
- ③ 「キョッ、キョッ」と鳴く。
 - ・さえずり：「キコキコキー」などと澄んだ声^すで鳴く。

20. アカゲラ（キツツキ目キツツキ科） <通年>



- ① 全長24cm位。^{くらい}
- ② 尻が赤い。^{しり}
 - ・幼鳥は頭部に赤味がある。
 - ・黒い背中に白いしま模様^{もよう}があり、左右の白い大きな班^{まだら}が目立つ。
- ③ 「キョッ、キョッ」と鳴く。

21. アカショウビン（ブッポウソウ目カワセミ科） <夏>



- ① 全長27cm位。^{くらい}
- ② 溪流のある暗い林^{ひらい}に飛来する。鳴き声は聞こえるがなかなか姿^{すがた}を見ることができない。
 - ・サワガニ、カエル、トカゲなどの小動物や虫を捕食^{ほしよく}する。
- ③ 「ヒヒョロロ…」と次第^{おんてい}に音程が下がりながらフェードアウトするように鳴く。

22. カケス（スズメ目カラス科） <通年>



- ① 全長33cm位。^{くらい}
- ② 体の側面^{そくめん}にある青い部分が目立つ。
- ③ 「ジャーツ」としわがれ声で鳴く。
・他の鳥の鳴き方を真似るのも特徴。^{な かた まね とくちょう}

23. ヒヨドリ（スズメ目ヒヨドリ科） <通年>



- ① 全長27cm位。
- ② 目の下後方は茶色。
・興奮^{こうふん}すると頭の羽毛^{さかだ}を逆立てる。
- ③ 「ピーヨ」または「キーヨ」と甲高^{かんだか}く鳴く。
・「ピーヨロイロピ」などと鳴くこともある。

24. キジバト（ハト目ハト科） <通年>



- ① 全長33cm位。^{くらい}
- ② 翼や背中に茶色のうろこ模様^{もよう}、首にしま模様^{もよう}。
・ほぼ一年中繁殖^{はんしよく}しており、雌雄2羽で見る^{しゆう}ことが多い。
- ③ 雄^{おす}は「デッデ、ポッポー」と低い声^くで繰り返し鳴く。

25. ホトトギス (カッコウ目カッコウ科) <夏>



- ① 全長28cm位。^{くらい}
- ② 腹のしま模様^{はら もよう}はカッコウより太く、少ない。
・主にウグイスに托卵^{たくらん}(※)する。
- ③ 飛びながらよく鳴き、夜も鳴く。
・雄^{おす}の声は「テッペンカケタカ」「特許許可局(トッキョキョカキョク)」と聞こえる声で鳴く。また、「キョッキョッキョッキョッキョ」という鋭い^{すど}声も出す。

26. コジュケイ (キジ目キジ科) <通年>



- ① 全長27cm位。^{くらい}
- ② 体全体は、茶色のうろこ模様^{もよう}で、顔はやや明るい茶色。首周りは灰色。^{くびまわ はいろ}
- ③ 繁殖期^{はんしょくき}には、「チョットコイ」と聞こえる声で繰り返し鳴く。
・「キョッ、キョッ」と繰り返し鳴いたり、ピョーという大声を出したりする。

27. ツツドリ (ホトトギス目ホトトギス科) <夏>



- ① 全長33cm位。^{くらい}
- ② 主にセンダイムシクイに托卵^{たくらん}(※)する。
- ③ 雄^{おす}は「ポポ、ポポ」と筒^{つつ}を叩く^{たた}ような声で鳴く。

※托卵^{たくらん}とは、自らが産^うんだ卵^{たまご}を他の鳥(仮親^{かりおや}という)に育てるさせること。

28. ヒレンジャク (スズメ目レンジャク科) <冬>



- ① 全長17cm位。^{ぜんちょう} ^{くらい}
- ② 尾の先が赤い。^お
- ③ 習性や声はキレンジャクに似てい^{しゅうせい} ^にる。

29. キレンジャク (スズメ目レンジャク科) <冬>



- ① 全長19cm位。^{ぜんちょう} ^{くらい}
- ② 尾の先が黄色。^お
 - ・ 時に大群になる。^{たいぐん}
 - ・ 群れの中ヒレンジャクが混じることもある。^む ^ま
- ③ 「チリチリチリ」などと鈴を振るような細い声^{すず} ^ふで鳴く。

【カラスくらいの大きさの鳥】

30. ハシボソガラス (スズメ目カラス科) <通年>



- ① 全長50cm位。^{ぜんちょう} ^{くらい}
- ② ハシボトガラスよりくちばしが細い。^{ようちよう}
 - ・ 幼鳥は口の中が赤い。
- ③ 「ガー、ガー」「ギャー、ギャー」と濁った^{にご}声で鳴く。

3 1. ハシブトガラス (スズメ目カラス科) <通年>



- ① 全長56cm位。^{くらい}
- ② ハシボソガラスより頭頂部^{とうちょうぶ}がが、やや隆起^{りゅうき}している。
- ③ 「カーカー」と乾いた声^{かわ}で鳴く。

3 2. キジ (キジ目キジ科) <通年>



- ① 全長80cm位。^{くらい}
 - ② 開けた環境^{かんきょう}を好み、姿^{すがた}を見かけることは比較^{ひか}的多い。長い尾^おが特徴^{とくちょう}。
 - ③ 雄^{おす}は繁殖期^{はんしょくき}に「ケッ、ケーツ」と鋭い大声^{すろど}で鳴く。
- 日本の国鳥。

3 3. ヤマドリ (キジ目キジ科) <通年>



- ① 雄^{おす}は、全長125cm位。^{くらい} (雌^{めす}は、55cm位)^{くらい}
 - ② 深い林^{この}を好む。雄^{おす}はキジより長い尾^おを持つ。雌^{めす}は尾^おの先が白く、体全体の赤みが強い。
- 山地の斜面^{しゃめん}がある林^{なか}の中にすんでいることが多く、キジより見る機会^{きかい}は少ない。
- 日本特産種^{にほんとくさんしゅ}。

【参考文献等】

- ①野鳥観察ハンディ図鑑「新・山野の鳥」（財団法人 日本野鳥の会）
- ②HP：「ウィキペディア」
- ③HP：「PIXABAY」
- ④HP：「写真素材フォトライブラリー」
- ⑤HP：「写真AC」